

日産車体、「健康経営優良法人2019～ホワイト500～」の認定を初取得

日産車体株式会社(本社:神奈川県平塚市堤町 社長:木村 昌平)は、経済産業省と日本健康会議が共同で進める「健康経営優良法人認定制度」において、「健康経営優良法人2019～ホワイト500～」に初めて認定されました。

「健康経営優良法人認定制度」とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度であり、今回当社は、「大規模法人部門」において、認定されました。



当社は「全従業員が心身の健康の維持向上に努め、生き活きと働くことが出来る職場づくり」の全社方針の下、産業医、保健師、看護師、社内カウンセラー等の体制を整え、外部専門機関等とも連携し、組織的な活動を行っています。健康診断結果に基づく保健指導をはじめ、食事セミナーや運動イベントなどの生活習慣病の予防、ストレスチェック結果に基づく高ストレス職場に対する職場環境改善活動や研修を通じたメンタルヘルス対策等、データに基づく課題の見える化と、心身不調の未然防止活動を継続して行ってきました。

これらの活動に対し毎年PDCAのサイクルを回すことにより、成果を検証し、活動を深化させています。



日産自動車健康保険組合と連携したポータルサイト
2019年開始予定



食習慣改善 食事セミナー

当社は、今後も、従業員すべてが、その能力を十分に発揮できる企業風土を醸成するため、健康保持増進活動に取り組み、モチベーション高く、生き活きと働くことができる職場環境づくりに取り組んでいきます。